

---

# 東方転命記

ちょもより

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

東方転命記

### 【Nコード】

N5285BA

### 【作者名】

ちょもより

### 【あらすじ】

成り行きで超エリート高校に進学した、桐生刀夜。  
そんな彼の腐れ縁・親友、鳳城蒼弥。

刀夜は蒼弥の招待を受け、幻想入りする……………はずだった。

ちょっとした手違いで、幻想郷が出来るずっとずっと前。縄文時代より前に転生してしまった。

そんな彼と、東方キャラが出会ったら………？

ハーレム、とか出来たらいいな

オリ主、オリキャラ、チートです。

現世、さようなら（前書き）

どうも、こんにちは。

ちよもよりでございますm（――）m

前作、ちよっとした問題を見つけたので削除しました。すいませんで、ちよっと書き方や導入を大幅に変えてみようと思いました。

出来れば、書き方等のアドバイスあればお願いします。

~~~~~

桐生刀夜、彼はひょんな事から幻想入りする。はずだった。

彼は縄文時代位に転生してしまった。

ここが物語の始まり。乞うご期待

現世、さようなら

彼は呟いた

「これで………終わりにしよう」

「ああ、ここで終わりだ」

『終焉「オーバーイデオム」』

『終点「エンドイグザミネーション」』

「はあああああゝ、もう駄目だあああ」

負の念が入った言葉を発し続けている彼。

その原因、事の始まりは学校であった。

凜霊高校、正確には国立神奈川県横浜市凜霊高等学校、と言う。

とっても長つたらしい名前だが、この学校は半端じゃない。

なんと、生徒側から入学は出来ない。

まず、それぞれの県大会のスポーツのトップ10を選ぶ、そこから成績優秀者を選ぶ、最後に、かなりの大学レベルのペーパーテストで、各教科95点以上の生徒のみが入れる、エリートばっかの高校なのだ。

どの部活も、全国優勝、2位の常連で、各学年生徒500人の中、全国模試で1位から300位までは、凜霊高校が抑えている。

で、そんな高校に居る彼は、2年生、桐生刀夜。

彼は、中学の時にバスケ東方大会で、最優秀選手となった。しかし、彼は不慮の事故に遭い、右腕骨折などの大怪我。全国大会には行けなかった。

成績は、市立校で学年1位か2位となり続けた。

……………話を戻そう。

なぜ、彼が負に染まっているかというと、彼の所属するバスケット部が問題を起こしてしまい、部員は無期限活動停止中となった。さらに彼は副部長、部長の、親友の鳳城蒼弥が居ないので責任は彼の「1月停学」という形で収まった。

で、彼は今はその処分を言い渡されてきたところである。

教師は「お前にこんな処分はお門違いなんだが……」と言ったが  
どうにもならない様で……

SIDE 刀夜

「はあ、どうしよう」

一旦学生遼に帰ったはいいのだが、何もする気になれない。

とりあえず、停学中の課題と反省文は終わらせてしまったがこの事を考えていなかった。

……………ピンポーン

電子ベルの音だ。誰か来たのだろうか？

「はい、今でまーす」

ガチャ

「よお、元気してる「お前かよ……………」」

「まあ、そう言うなって、見舞いに来てやったんだから」

そこにいたのは、停学中の親友の鳳城蒼弥だった。

見舞い、と言う表現もおかしいな。と思いつつ、茶の用意をする。

こいつとは、本当に腐れ縁で、なんせ、生まれた場所も一緒、時間も、体重や身長まで同じだったらいい。さらには、今までの学校で全部同じクラスだった。

「んで、何の用だ？」

「さっきも言つたろ、見舞いだよ。後は……………」

最後の方が聞き取れなかったが、きつとくだらん事だろう。

するとほれ、といった感じで見舞い品を渡してきた。

「おおー！分かってるじゃないか」

「だろうな、この店で、お前の名前出したら、全部5円引きだったんだぜ」

人の名前を悪用したのはともかく、持ってきたのは焼き鳥だった。それも、俺が行きつけの知る人ぞ知る、あの隠れ名店の！！

「なんで、知ってるんだよ？」

あの店は、かなり入り組んだ裏路地の中にあつて、知ってる人でも、たまに迷う位だ。それに、店は誰にも教えていない。

「まあまあ、気にするなつて……………で、もう一個用件があつてな」

蒼弥が渡してきたのは、『移』と書いてある札。

札を見ていると、蒼弥が手で某忍者アニメの様に、印？を結んでい



た。

「死んでくれ」

バタッ

「すまねえなあ、本心じゃないんだ」

SIDE 刀夜

その声を聞くことなく、刀夜の意識は薄れていった。

「ガハッ！」

脇腹が痛い……………、口の中に血の味がする。

確か、部屋の中に蒼弥が来て、なんか渡されて……

「っ！っ！」

ああ、そうだ。殺されかけたんだ。あの、あの蒼弥に……

ふう、と一息付いて、包帯を手探りで探す。

「ん？」

そこで気づいた、床の感触では無い。

急いで、体を起こしてみると。

一面の草原だった。

現世、さようなら（後書き）

どうでしょう？書き方変えてみました。

アドバイス等どんどん下さいm（  
—（  
m

はい、初回が終わりました。

まず、諏訪子の所に行こうかな？

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n5285ba/>

---

東方転命記

2012年1月14日17時47分発行